

平成 29 年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所属	専修大学大学院 博士後期課程	職名	院生	助成金額	20 万円
氏名	引田梨菜		印		
研究や活動等のテーマ（申請書に記入した内容を記入すること。）					
『分類別 語彙』改訂版 編集・出版					
助成金の使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。）					
<p>【研究目的】</p> <p>来日するネパール人は増え続ける一方であるが、日本語を学習するための環境が整備されていないだけでなく、日本で生活する環境も整備されているとは言い難い。つまり、言語サービスが行き届いていないという問題を抱えている。そこで、2013年にネパールで出版された『分類別 語彙』という労働者用日本語語彙集の改訂版を作成し、日本で生活するネパール人やネパール人にかかわる日本人にとって、役立つ語彙集をつくることを目的とする。</p> <p>【研究方法】</p> <p>日本語の間違いを直した後、掲載する語彙の選定を改めて行い、より使用者のニーズに合うように、かつ使用しやすくなるようにしていく。その後、ネパール語、英語併せてネイティブチェックを入れることによって、各語彙が現代でも実際に使われているのかどうかも含め確認していくことができる。このようにネイティブチェックを重視することによって、使用者の立場にたった改訂版の出版を目指している。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネイティブチェッカーを得られた ・掲載する語彙の選定（初版著者との打ち合わせにて） ・ネパール語の発音における表記方法が多数あることが明らかになった ・日本語母語話者とネパール語母語話者における英語訳に対する「ずれ」があることが明らかになった ・ネイティブチェックからネパールでの生活スタイルや考え方が明らかになり、表現の選定にも活用できた 					
助成金の使用金額及び使途					
<p>【ネイティブチェック謝礼・その他謝礼】 98,000 円</p> <p>①ネパール語語彙における英語のローマ字表記 ②選定した語彙の英語訳記載 ③それに付随する調査</p> <p>【研究打ち合わせ（旅費・宿泊費）】 105,000 円 ネパール滞在 1 回（4 泊 6 日）</p>					
合計 203,000 円（うち 3,000 円は自費）					
助成金を使用した成果に関する発表（インターネットに公表されている場合は URL を記載すること。）					
ネパール日本語教師協会での完成報告・発表、CAJLE 年次大会での成果発表を予定していたが、ネパール語の発音表記について追加調査を行ったため、発表の時期が遅延している。よって、平成 31 年度内において各発表を予定している。					